

# エプソンのサステナビリティ経営

## 「省・小・精」から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る

2024年 12月 3日  
セイコーエプソン株式会社  
代表取締役社長 小川 恭範

自然に恵まれた信州諏訪地方に  
1942年創業

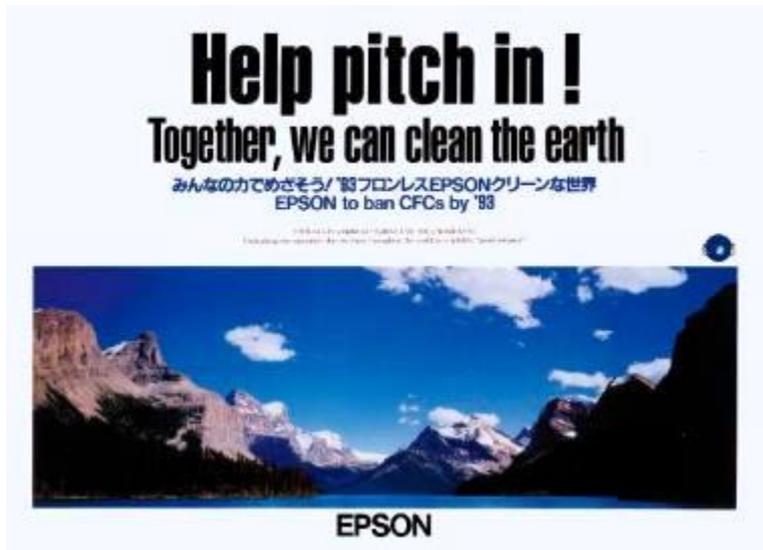
「地域との共生」を礎に、  
常に環境との調和を図ることが社風として定着

“絶対に諏訪湖を汚してはいけない”  
“周辺の人に迷惑をかけず、地域に受け入れられる  
工場でなければいけない”

創業者 山崎久夫の思い

## フロン全廃への取り組み

- 1988年 世界に先駆けて「フロンレス」宣言
- 1992年 フロンレス技術を確立し、国内で全廃達成。翌年全世界達成



フロン全廃へ向けた  
社内活動啓発ポスター



EPA:米国環境保護庁から  
「成層圏オゾン層保護賞」を受賞

# エプソングループの歩み

EPSON

創業以来、独自の「省・小・精」の技術により新たな価値を創り、人々の生活を変えてきました。



世界初のクォーツウォッチ

1942年

始まりは  
“時計”  
の製造から

1969年

正確な時間を  
人々の日常に

当時

機械式腕時計は  
一日に何秒もずれるのが  
当たり前



インクジェットプリンター



液晶データプロジェクター

1994年

家庭でも気軽に  
写真印刷を

当時

写真印刷は  
写真店で

プレゼンテーション  
の方法を革新

当時

紙またはOHP\*  
を使って説明



オフィスでの省電力に貢献する  
高速ラインインクジェット複合機

2010年～現在

お客様の期待を超える  
新たな価値創出へ



紙をその場で再生する  
乾式オフィス製紙機



自動化の加速に貢献する  
スカラロボット



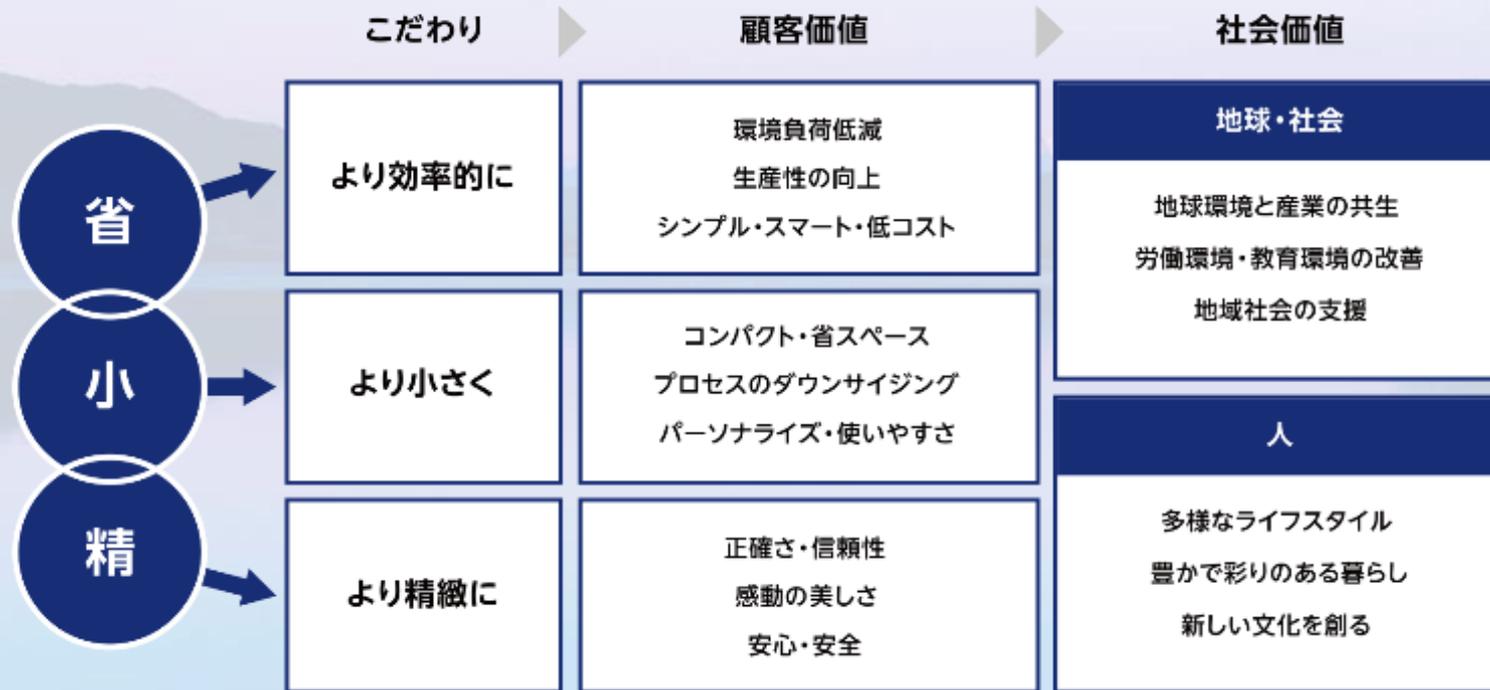
アナログ捺染の環境負荷低減を実現する  
インクジェットデジタル捺染機

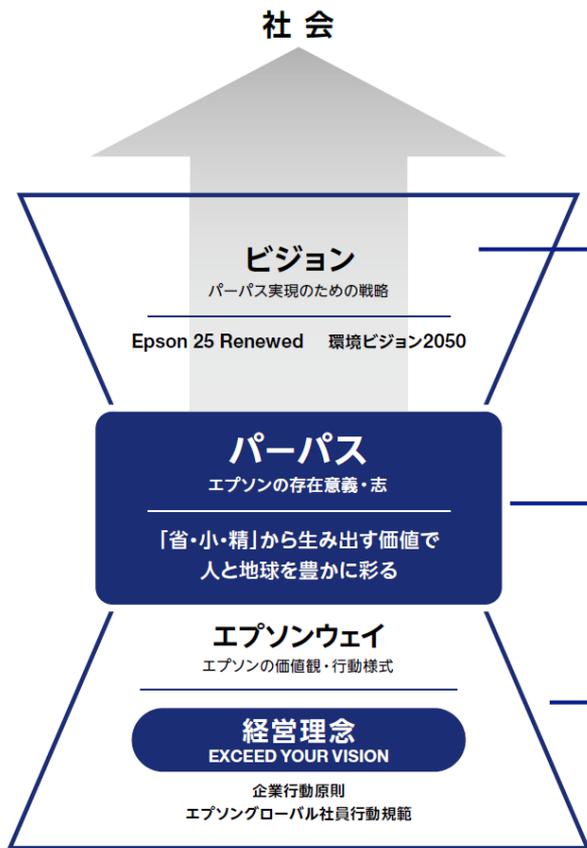
\*OHP：Overhead projector。透明シートに記載されたテキストや図表をスクリーンに拡大投影する機器



「省・小・精」から生み出す価値で  
人と地球を豊かに彩る

「省・小・精」にこだわった製品やサービスが、顧客価値として世界に広がることで、社会価値を生み出します。





## パーパス実現のための戦略



## エプソングループの存在意義・志

「省・小・精」から生み出す価値で  
人と地球を豊かに彩る

## エプソンの価値観・行動様式

### 経営理念

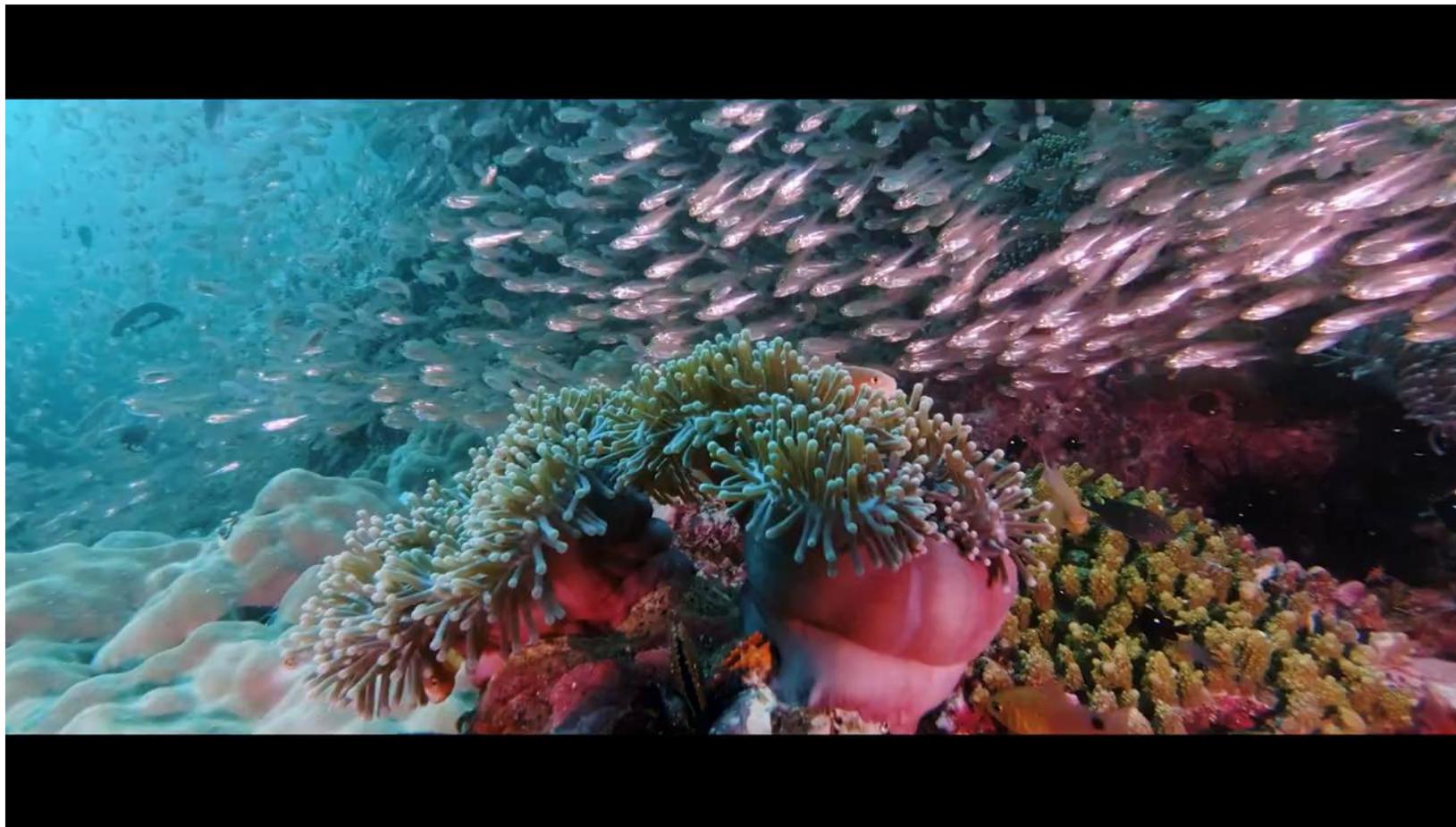
お客様を大切に、地球を大切に、  
個性を尊重し、競争力を発揮して  
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する  
関われた、なくてはならない会社でありたい。  
そして社員が自覚を持ち、  
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

### EXCEED YOUR VISION

私たちがエプソン株式会社、  
常に自らの常識やビジョンを捨てて挑戦し、  
お客様に驚きや感動をもたらす  
成果を生み出します。

### 企業行動原則

エプソングローバル社員行動規範

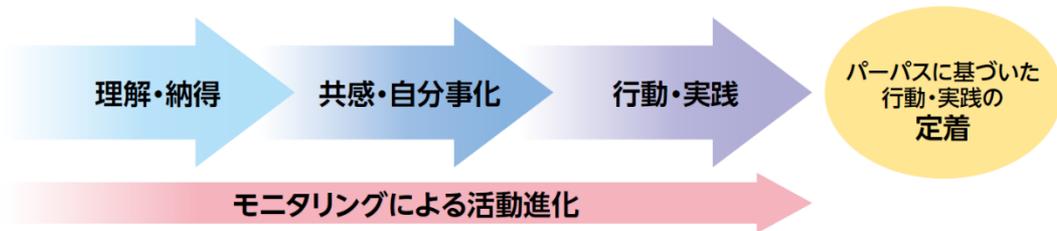


私たちのパーパス

「省・小・精」から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る



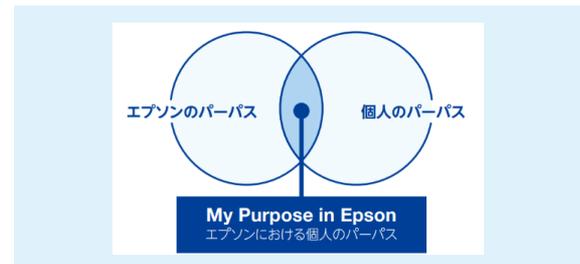
## 社内浸透活動ロードマップ



## 2022・2023年の主な活動

<b>eラーニング</b>	<b>経営からのメッセージ発信</b>	<b>社員研修でのワークショップ</b>	<b>パーパス月間</b> グループ全職場での My Purpose in Epson ワークショップ
グループ各拠点での社長の小川によるパーパス講話および従業員との対話会			
社内報、イントラでの継続的な情報発信			

## My Purpose in Epson (エプソンにおける個人のパーパス)



パーパスに込められた思いを、どのように実現していくかを示しています





<sup>1)</sup> 2030年度までにGHG排出量を200万トン以上削減 (2017年度比55%削減)

<sup>2)</sup> 2023年度までに再エネ化完了

<sup>3)</sup> 2023年度の特許登録件数ランキング (当社調べ) (2023/1/1~12/31)

<sup>4)</sup> 2020年度比

<sup>5)</sup> 売上収益事業利益率

<sup>6)</sup> 投下資本利益率

## 社会課題



## エプソンが貢献できる取り組むべき社会課題を特定



環境負荷の低減



労働環境の改善



分散型社会をつなげる



インフラ・教育・  
サービスにおける  
質の向上



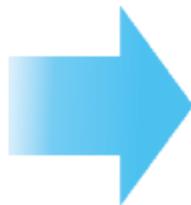
ライフスタイルの  
多様化

## インプット



創業以来培ってきた「省・小・精の技術」をベースにイノベーションを起こす

## 「省・小・精の技術」



- マイクロピエゾ
- ドライファイバー技術
- ロボティクス
- マイクロディスプレイ
- センシング
- 半導体・水晶
- 超微細精密加工技術

## マテリアリティ



## 社会課題解決に向けて、マテリアリティに取り組む



循環型経済の牽引



産業構造の革新



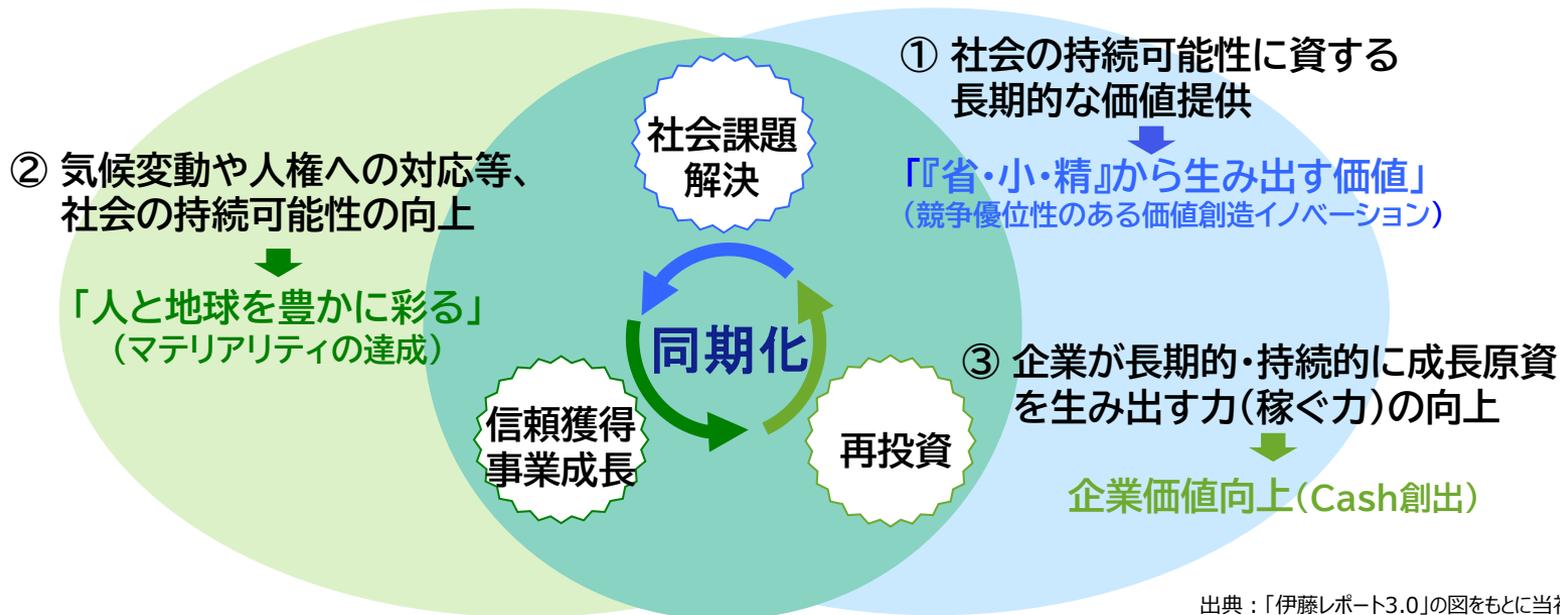
生活の質向上



社会的責任の遂行



エプソンの事業活動は社会課題解決そのもの  
社会課題を解決することで事業成長し、事業成長することでより多くの社会課題を解決する



出典：「伊藤レポート3.0」の図をもとに当社作成

「SX」上記同期化のために必要な経営・事業変革(トランスフォーメーション)

長期ビジョン「Epson 25 Renewed」

# 環境ビジョン2050・環境への取り組み



大切なものを見極め、より大きな価値を創りだす。

エプソンは、社会のために技術力を磨き続け、自然環境への想いを紡いできました。

私たちはサステナビリティの本質をとらえ、その概念を塗り替えていきます。

これまでも、これからも。

## 2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源<sup>\*1</sup>消費ゼロ」を達成し、 持続可能でこころ豊かな社会を実現する

\*1 原油、金属などの枯渇性資源

### 達成目標

- 2030年：1.5°Cシナリオ<sup>\*2</sup>に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源<sup>\*1</sup>消費ゼロ」

### アクション

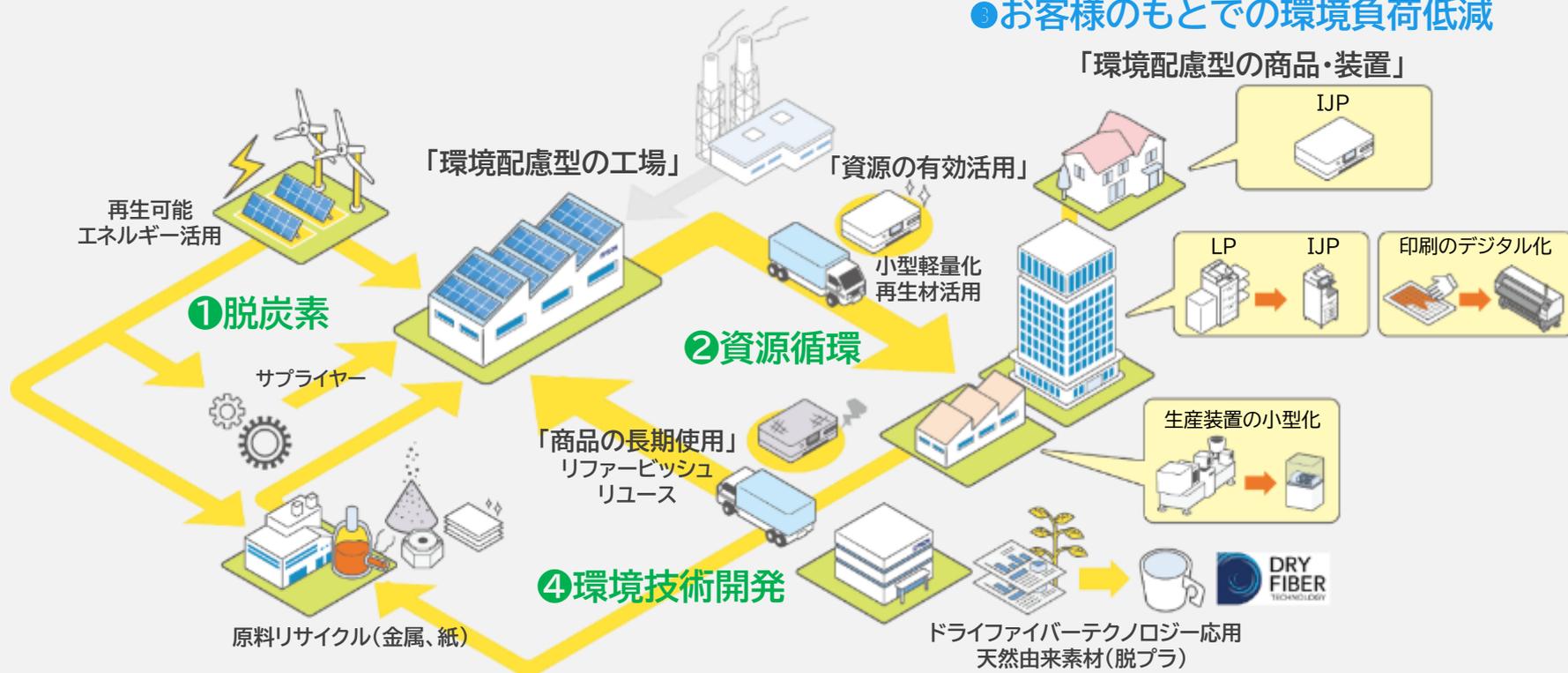
- 商品・サービスやサプライチェーンにおける環境負荷の低減
- オープンで独創的なイノベーションによる循環型経済の牽引と産業構造の革新
- 国際的な環境保全活動への貢献

\*1 原油、金属などの枯渇性資源

\*2 SBTイニシアチブ（Science Based Targets initiative）のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標

「脱炭素」と「資源循環」に取り組むとともに、環境負荷低減を実現する商品・サービスの提供、環境技術の開発を推進する

## ● お客様のもとでの環境負荷低減



### 脱炭素

**2030年目標：スコープ1・2排出量ゼロ**

- スコープ1(燃料系)：電化、脱炭素燃料転換
- スコープ2(電気)：再エネ化、地域・自社の発電拡大

**2030年目標：総排出量55%削減\*3**

---

### 資源循環

**2030年目標：サステナブル資源率50%**

- 主要材料(プラ・金属)のサステナブル資源化

---

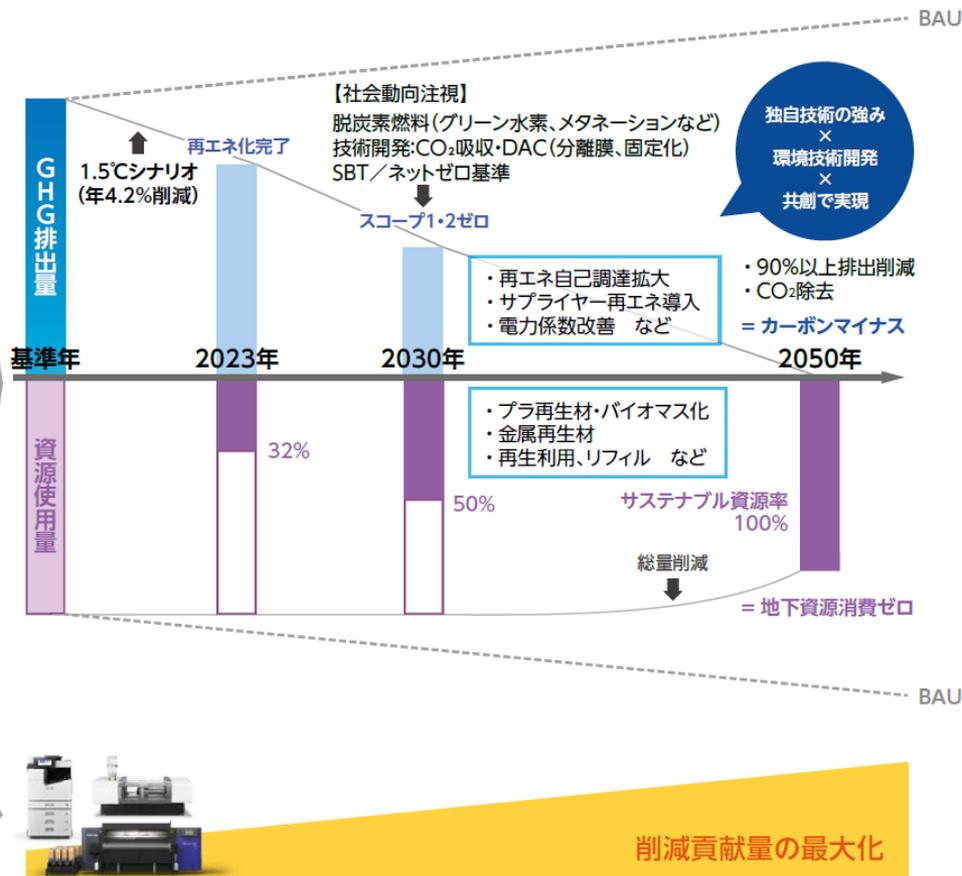
### 共通施策

- 商品小型・軽量化、消耗品・交換部品の削減
- 商品省エネ化
- 戻入品再販売、使用済み製品再整備、リフィル
- 長期使用ビジネスモデル化
- サプライヤーエンゲージメント(再エネ・再生材)
- 生産ロス極小化、温暖化物質削減

---

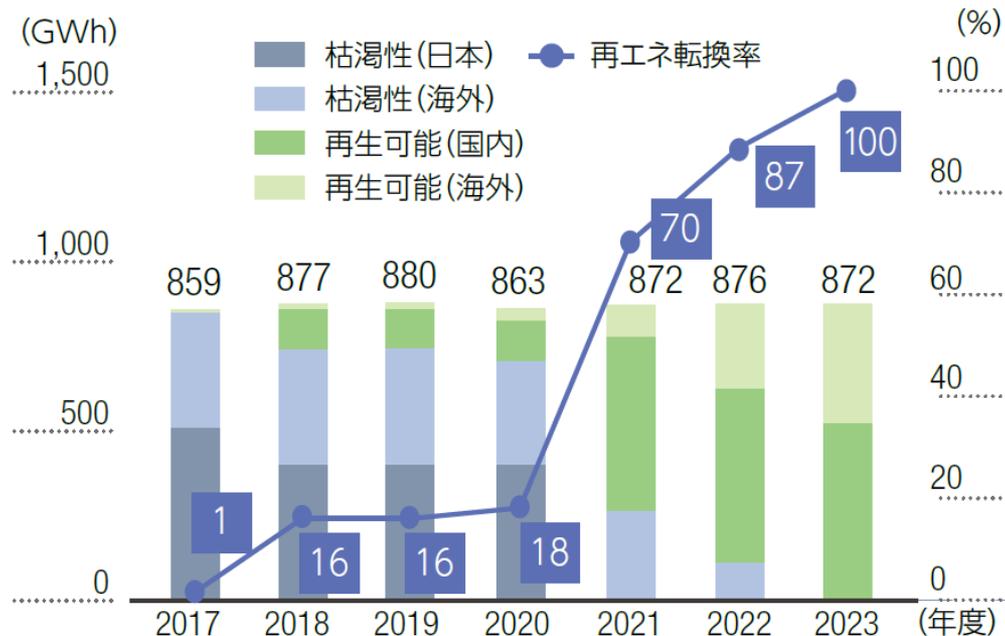
### お客様のもとでの環境負荷低減

- 社会の環境負荷低減に資する製品・サービスの拡大

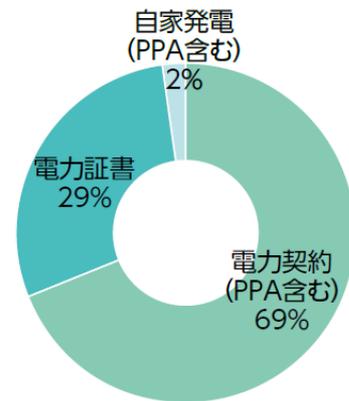


\*3 2017年比のスコープ1、2、3排出量

## 再生可能エネルギー活用実績と転換率(2023年度末時点)



## 調達方法の内訳(2023年度)



# 価値創造戦略

社会課題の解決と同時に経済価値を創出する事業の成長ストーリー

## エプソンの価値創造戦略

PICK UP

複数ある取り組みテーマの中から、代表例として、以下の取り組みをご紹介します。

今回ご紹介する価値創造の具体的な取り組み

紹介する取り組みテーマ・KPI		具体的な取り組みを紹介する事業 KPIを達成するためのイノベーション事例
<b>マテリアリティ、サステナビリティ重要テーマ</b> <b>循環型経済の牽引</b>	<b>取り組みテーマ / KPI</b> 環境負荷低減に資する商品・サービスによる削減貢献量の最大化 * 商品・サービスが会社のGHG排出量の削減に資する量を定量化したもの (KPI) 商品・サービスによる削減貢献量	<b>オフィス・ホームプリンティング事業</b> 【オフィス・ホームプリンティングイノベーション】 削減貢献量を可視化することで、エプソンの環境負荷低減への貢献を具体的に示し、ビジネス成長と削減貢献量の増大につなげる
<b>産業構造の革新</b>	デジタル化・自動化による生産性向上 インクジェット技術と多様なソリューションにより、商業・産業印刷のデジタル化を主導し、環境負荷低減・生産性向上を実現する (KPI) 商業産業向けのインクジェットプリンター平均売上伸長率(対前年)	<b>商業・産業プリンティング事業</b> 【商業・産業プリンティングイノベーション】 大判プリンターを使用する生産現場の課題を解決し、業務の効率化を実現するエプソンのクラウドソリューションEpson Cloud Solution PORT
	労働環境・教育環境の改善 ロボットを用いた自動化による労働力不足の解消 (KPI) 労働力不足解消数(エプソン社内プロジェクトの効果ベースで換算) リアルとリモートを組み合わせた公平・自然で快適なコミュニケーション環境の提供 (KPI) 導入企業数またはパートナー数 スマートかつ携行型ディスプレイによる良質な学びの機会創出と学びの格差緩和 (KPI) 共創・協業による現地実証プログラム数、一般教育、社会課題啓発での実証回数	<b>マニュファクチャリングソリューションズ事業</b> 【マニュファクチャリングイノベーション】 多様な事業で培われた総合的な技術力とサポート力により、生産システムの自動化を推進
		<b>ビジュアルコミュニケーション事業</b> 【ビジュアルイノベーション】 全ての人に学びの場を提供したい 途上国での綿密な実証活動を経て、共創によるビジネス化へ向けた具体的な構想へ

マテリアリティ



循環型経済の牽引

サステナビリティ重要テーマ

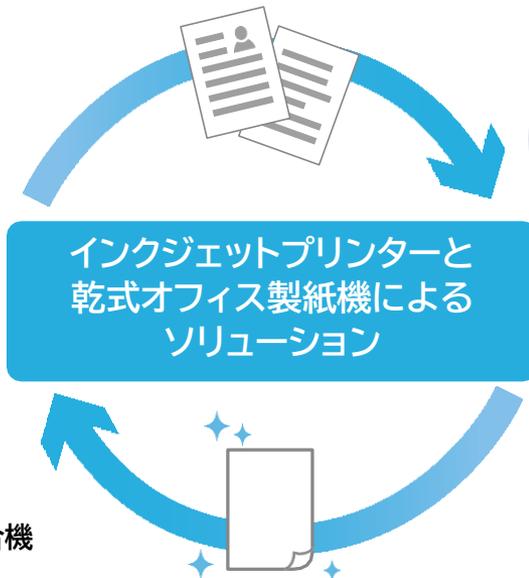
## お客様のもとでの環境負荷低減

社会課題：脱炭素、資源循環、水資源の保全

削減貢献量\*1  
**15.1千t-CO<sub>2</sub>e**



ラインインクジェット複合機



独自開発した紙再生技術で水をほとんど使わない\*2

使用済みのコピー用紙を原料として新たな紙をその場で再生する



乾式オフィス製紙機 PaperLab

エプソンの提供価値

- ・消費電力量・印刷コストの削減に加え、高速印刷による生産性向上に貢献
- ・オフィス内で実現する新たな紙循環サイクルで森林資源と水資源の保全に寄与
- ・文書を繊維まで分解し、情報を完全抹消

\*2 機器内の湿度を保つために少量の水を使用

マテリアリティ



循環型経済の牽引

サステナビリティ重要テーマ

## お客様のもとでの環境負荷低減

マテリアリティ



産業構造の革新

社会課題：脱炭素、資源枯渇

### 消耗品のプラスチック、金属の使用量比較

#### インクカートリッジモデル



WF-2630  
シリーズ



交換用  
カートリッジ  
合計363本

約4万ページ印刷時

消耗品の  
資源使用量

約86%  
削減<sup>\*1</sup>

6.6 → 0.9  
kg kg

世界累積販売台数 1億台達成(2024年9月まで)

#### 大容量インクタンクモデル



ET-4810  
シリーズ



交換用  
インクボトル  
合計28本

エプソンの  
提供価値

- ・消費電力の削減
- ・資源消費量が少ない

\*\*1(注)ET-4810シリーズとWF-2630シリーズでA4カラー文章を5年間で41,600ページを印刷する想定における、包装材を含む消耗品の石油由来プラスチックと金属の質量比較です。  
・ エプソンの評価条件に基づき算出したもので、お客様のプリンターの使用状況により異なります。

マテリアリティ  循環型経済の牽引

サステナビリティ重要テーマ **デジタル化・自動化による生産性向上**

マテリアリティ  産業構造の革新

社会課題：高生産性、分散化

エプソンのクラウドソリューション  
Epson Cloud Solution PORT



エプソンの  
提供価値

- ・ 高い信頼性と高精度色合わせが可能となり、複数台の色差を埋め、分散印刷の実現
- ・ 複数台のプリンターを遠隔操作できるため、生産性の向上、DX化の推進に寄与

# 取り組み事例 4: 自社で培ったノウハウを活かし、生産システムの自動化を推進 **EPSON**

マテリアリティ



産業構造の革新

サステナビリティ重要テーマ

労働環境・教育環境の改善

社会課題：労働人口減少、労働環境の改善



エプソンの  
提供価値

- ・ 自動化ノウハウおよび高精度なロボットで生産プロセスを革新
- ・ 低コスト、高生産性、小スペースで導入しやすい装置の開発、提供

マテリアリティ



産業構造の革新

サステナビリティ重要テーマ

労働環境・教育環境の改善

## 社会課題：教育環境の改善



### <JICAとの共創>

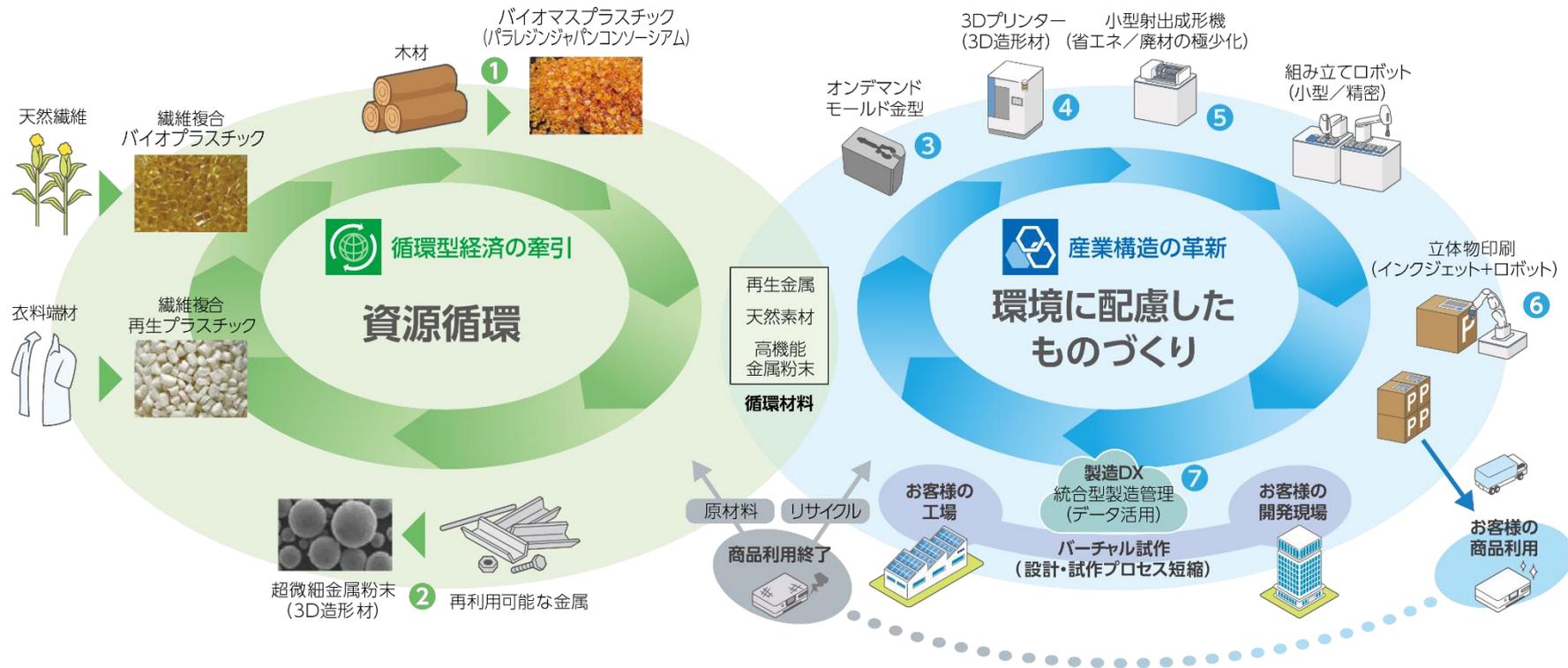
途上国での実証活動  
約2年間で20カ国63地点で実施

エプソンの  
提供価値

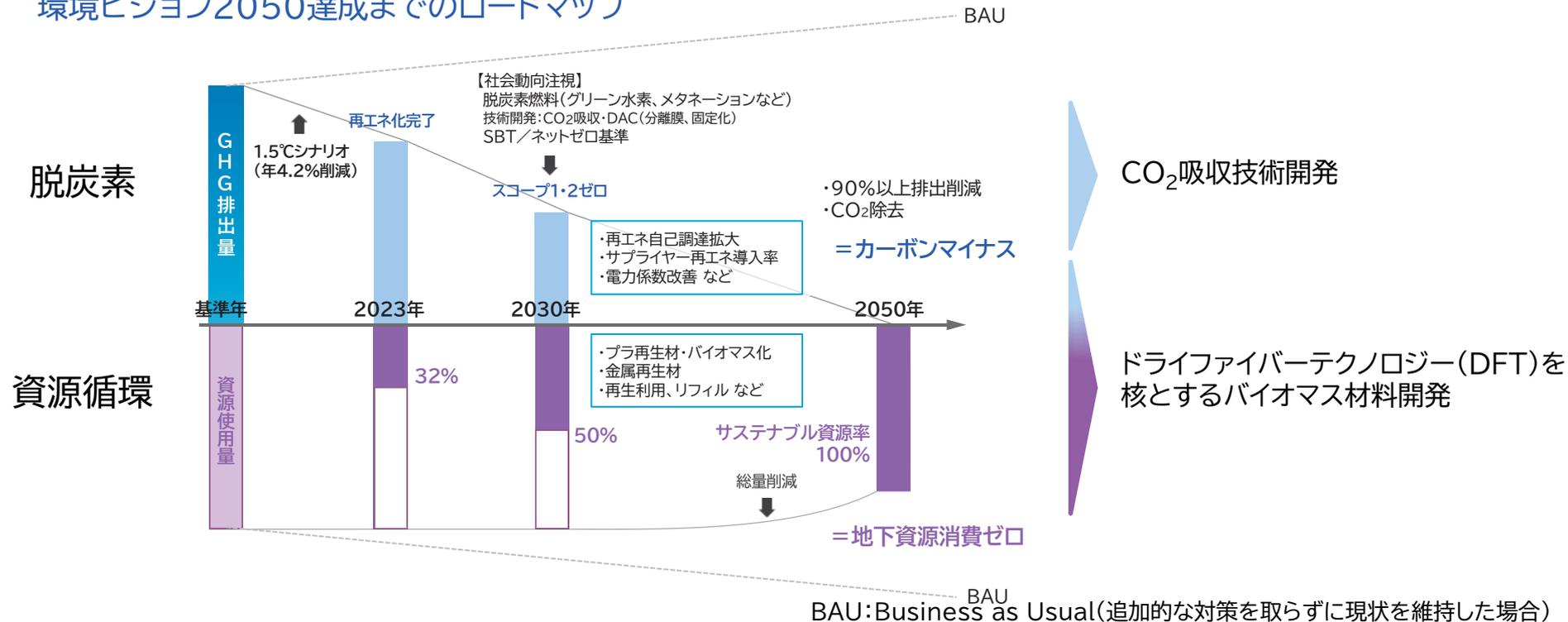
- ・ 大画面・電子黒板機能による 教育効果の向上
- ・ 専門サービスとの連携による 教育の質の格差や不足の解消
- ・ 教師・学校教材の不足解消

**社会課題を起点とした技術開発**  
資源循環のための環境技術開発と  
環境に配慮したものづくりを目指した生産技術開発

# 資源循環のための環境技術開発と 環境に配慮したものづくりを目指した生産技術開発



## 環境ビジョン2050達成までのロードマップ



CO<sub>2</sub>吸収技術開発：GHG排出量を相殺し、カーボンマイナスを実現する  
DFTを核とするバイオマス材料開発：資源使用量を減らし、地下資源消費ゼロを実現する

古紙をはじめとする様々な繊維素材を、用途に合わせた繊維化、機能性材料との整合、成形を行うことで高機能化の実現が可能な独自技術



PaperLab A-8100

ドライファイバーテクノロジー



繊維化

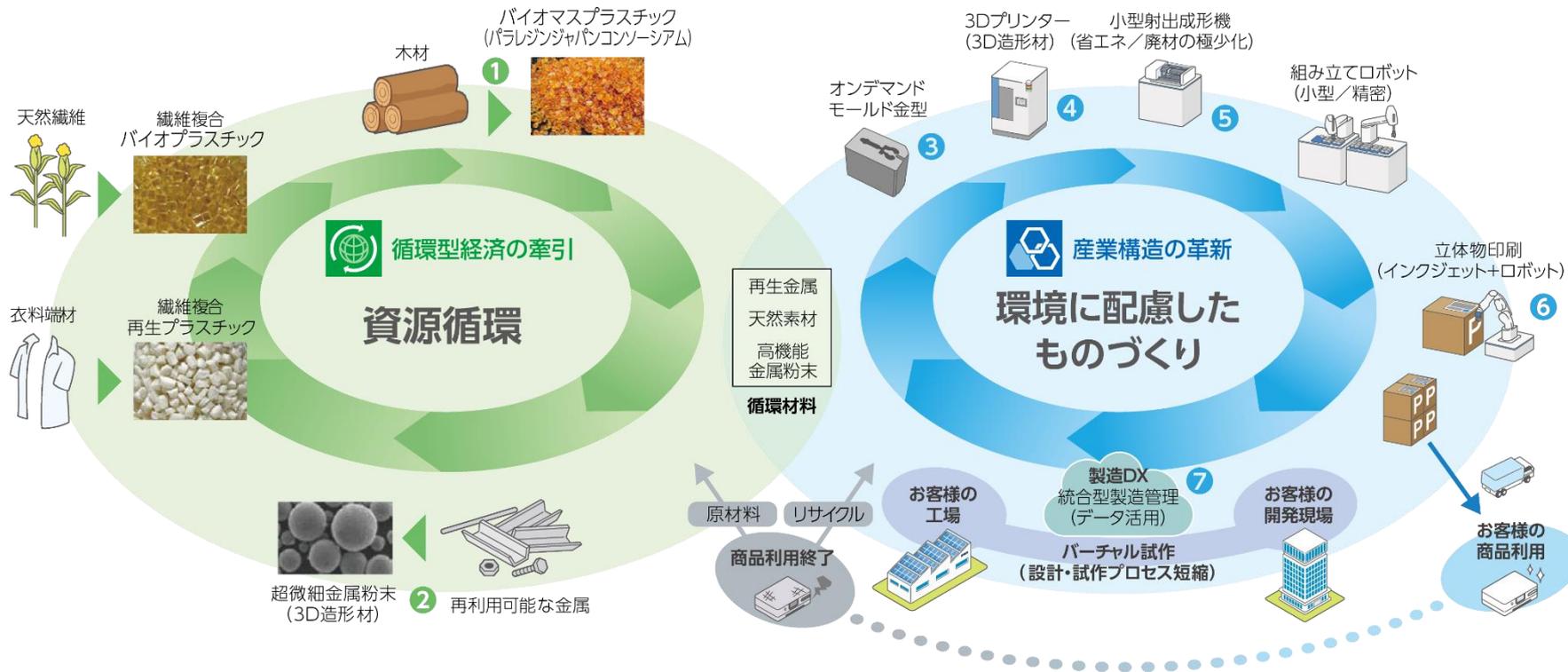


結合



成形

# 資源循環のための環境技術開発と 環境に配慮したものづくりを目指した生産技術開発





「省・小・精」から生み出す価値で  
人と地球を豊かに彩る

**EPSON**